

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA研)  
第10回文法研究ワークショップ

「名詞複数標識の多義性 — 純粹複数・近似複数・曖昧・例示 —」

「文法研究ワークショップ」は、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、情報共有を行なうことを目的としたワークショップです。2013年度に「複数性」のテーマで2回のワークショップを開催しましたが、今回はそれを発展させる形で、名詞複数標識の多義性を扱います。

単数（または双数）と対立する複数標識が、純粹複数や近似複数とは異なる用法を持つことがあります。今回は、奄美大島の諸方言、甌島里方言（鹿児島県）、ネワール語の記述を通して、「例示」や「曖昧さ」など、複数標識の用法の広がりについて理解を深め議論します。

記

1. 開催日時：2015年5月31日（日）12:00～16:00
2. 会場：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所3階304号室
3. 発表：  
新永 悠人（成城大学・大東文化大学）・齊藤 美穂（神戸大学）  
「奄美大島の湯湾方言と瀬戸内方言における名詞複数標識の多義性—純粹複数・近似複数・曖昧・例示—」  
重野 裕美（広島経済大学）  
「奄美大島浦方言における名詞複数標識の多義性—純粹複数・近似複数・曖昧・例示—」  
平塚 雄亮（志学館大学）  
「甌島里方言における名詞複数標識の多義性」  
桐生 和幸（美作大学）  
「ネワール語カトマンズ方言における名詞複数標識の多義性」

※本ワークショップは、遠方からの参加も可能になるよう、Ustreamによりインターネット中継を行います。

※お席に限りがありますので、事前に申し込みをお願いいたします。次の情報を下記「申込先」に電子メールでご送付下さい。電子メールの件名は必ず「文法研究WS参加希望」として下さい。申込締切は、2015年5月24日（日）です。

- (1) 氏名（ふりがな）
- (2) 所属
- (3) メールアドレス
- (4) 動画公開時のプライバシー：(A)顔が映っても問題ない (B)顔が映るのはNG

申込先：言語の動態と多様性に関する国際研究ネットワークの新展開（LingDy2）事務局  
lingdy-office[at]aacore.net ([at] を@に変えて送信ください)

※Ustreamによる参加ご希望の方は、上記(1)～(3)の情報、および、Ustream 観覧希望の旨を明記の上、2015年5月24日（日）までに上記「申込先」まで電子メールでご連絡ください。

以上

-----  
文法研究ワークショップは、「言語の動態と多様性に関する国際研究ネットワークの新展開」（LingDy2 プロジェクト）が企画・運営しています。本ワークショップに関するお問い合わせはLingDy2事務局まで、電子メールでお送りください。アドレス：lingdy-office[at]aacore.net ([at] を@に変えて送信してください)。